

# MARUSEN<sup>SPORTS&CULTURE</sup> NO.5

平成20年度



マルセン写真コンテスト  
金賞 「瀬戸の顔役」和気 茂(岡山市)



平成20年度 マルセン5号  
発行日/平成21年3月  
発行所/財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
所在地/〒700-0031 岡山県岡山市富町2丁目4番4号  
電話/(086) 214-3585 ファックス/(086) 214-3583  
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>  
(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)

# CONTENTS

ごあいさつ	1
財団法人の概要	2
役員・評議員名簿	3
平成20年度事業報告	4
第1章 助成事業関係	4
1 スポーツ活動に対する助成	4
2 文化活動に対する助成	5
第2章 表彰事業関係	6
1 マルセン大賞	6
2 マルセンスポーツ賞・文化賞	6
第3章 イベントの開催	8
1 スポーツ関係	8
2 文化関係	8
第4章 スポーツ・文化に関する広報・啓発事業	9
1 ホームページの管理	9
2 機関紙の発刊	9
3 お知らせ 第25回国民文化祭・おかやま2010	10
第5章 ホットコーナー	11
・大相撲郷土力士「琴国」	11
・美術館・博物館に親しもう	13
第6章 贈呈式	15
第7章 受賞者からのひとこと	16
1 マルセン大賞	16
2 マルセンスポーツ賞・文化賞	17
資料	
1 事業の記録	27
2 平成19年度収支決算書	30

## ごあいさつ

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団法人は、岡山県のスポーツ・文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に設立されました。お陰様をもちまして5年目を迎えることができました。このことは、皆様方の温かいお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年8月には、北京オリンピックの開催で、日本人の活躍に一喜一憂したものであります。しかし、9月にはアメリカのリーマンブラザース破綻に端を発する100年に一度あるかないかの世界規模の大不況が押し寄せ日本経済も例外なく厳しい社会情勢となっております。

このような中、7月にスポーツ・文化活動に少しでもお役に立てますよう活動助成事業や表彰事業を行いました。さらに11月には、岡山県生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2008」の参加を始めとするイベント等の開催を通して、微力ながらも県民の皆さまに少しでも明るく元気にお過ごしいただけるよう応援させていただいているところでございます。

このたび、活動の記録として、「マルセン」第5号の発刊の運びとなりました。ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます。どうぞご高覧のうえご指摘を賜れば幸いに存じます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
理事長 千原 多美子

## 財団法人の概要

### I 概要

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て設立されました。

当財団は、寄附行為第3条で、その目的を「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を図るとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現」と規定し、その目的達成のため次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業を定め活動しています。

### II 沿革

平成16年 2月27日	財団設立。岡山市富町二丁目4番4号に事務所を設置
平成16年 3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛 第23回山陽女子ロードレース大会
平成17年 2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年 3月11日	第1回文化イベント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会チケットプレゼントの実施
平成17年 7月14日	晴れの国おかやま国体への助成（2回目）
平成17年 8月 3日	第2回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年 7月21日	第3回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 8月 4日	コミュニティライブラリーの設置（岡山市駅前・旧岡山会館1階） 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度！」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月 3日	川島 基ピアノリサイタルの開催
平成19年 7月24日	第4回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成19年11月 2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007」 「生涯学習見本市」に出展
平成20年 3月 8日	マルセン少年サッカー教室の開催
平成20年 7月29日	第5回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成20年11月 9日	岡山県生涯学習フェスティバル2008「マルセンバルーンアート教室」の開催
平成21年 2月25日	「マルセン写真コンテスト入選作品展」岡山天満屋地下タウン「アートスペース」において開催（3月2日まで）
平成21年 3月 8日	「マルセン少年陸上競技教室」の開催

## 役員・評議員名簿

平成21年2月28日現在

### 役員名簿

役職名	氏名	会社名
理事長	千原多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理事	伊東 香織	倉敷市長
//	加計孝太郎	学校法人 加計学園 理事長
//	川崎 誠治	学校法人 川崎学園 副理事長
//	佐々木勝美	(株)山陽新聞社 取締役会長
//	高谷 茂男	岡山市長
//	吉岡 洋介	(財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
//	千原 行喜	(株)成通 代表取締役社長
監事	衣笠 和孜	岡山療護センター センター長
//	信朝 寛	元岡山県審議監

五十音順 敬称略

### 評議員名簿

役職名	氏名	会社名
評議員	馬越 績	馬越績税理士事務所 所長
//	大田 弘之	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
//	北尾 好昭	(株)瀬戸内海放送 取締役執行役員 岡山本社代表
//	高野 葵	岡山県ケーブルテレビ振興協議会会長
//	中川 洋一	西日本放送株式会社 岡山本社 中国総支社 支社長
//	平松 掟	平松弁護士事務所 (元日本弁護士連合会副会長)
//	藤原 隆昭	山陽放送(株) 代表取締役社長
//	松岡 俊郎	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
//	宮内 正喜	岡山放送(株) 代表取締役社長
//	藤田 土義	(有)ミスター・メンテナンス 代表取締役社長

五十音順 敬称略

## 平成20年度 事業報告

### 第1章 助成事業関係

岡山県において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するための諸活動に助成を行いました。

#### 1 スポーツ活動に対する助成 (応募総数/34件 採用件数/10件)

番号	団体名	活動名	活動目的
1	岡山県オリエンテーリング協会	オリエンテーリングマップ作成による中学校自然教室支援主体の活動	正確な地図を使用したオリエンテーリングを体験することにより、ナビゲーション技術の重要さと自らの意思で物事を決断する自立精神の養成に寄与する
2	北房キンボールクラブ	キンボールの普及	キンボールを地域住民に広める
3	ママ・ビューティー	子供連れで参加できるママさんサークル ママ・ビューティ (エアロビクス、ヨガ)	子育てに追われるママさんのリフレッシュ、リラックス、出産後のシェイプアップ
4	All JAPAN ILS STREET CONTEST 運営事務局	ALL JAPAN ILS STREET CONTEST 2008	エックススポーツ専用公園を有する岡山市ならではの活動として次代を担う子供たちの健全育成に寄与することを目的として、全国大会を開催
5	加美スポーツ少年団	ソフトボール・バレーボール・サッカー	加美小学校児童の体育振興をはかる
6	NPO法人 アクト岡山	サッカー教室	青少年の健全育成 岡山県のサッカーのレベルの向上
7	福島下町子供会ソフトボールクラブ	福島下町子供会ソフトボールクラブ	子供の育成のため
8	備前市陸上競技協会	第6回BIZENナイトー陸上フェスティバル	幼児から大人までの陸上競技の普及と障害者スポーツのPR
9	スポーツネット一宮	スポーツネット一宮第2回ふれあいスポーツ大会	中山中学校区民の「親睦の輪・元気の輪」を広げる
10	藤原 香緒里	2010年バンクーバーオリンピック参戦を目指して 北海道強化合宿自主トレーニング	スノーボードで2010年バンクーバーオリンピック参戦を目指し、トレーニングを行う

## 2 文化活動に対する助成 (応募総数 /45件 採用件数/10件)

番号	団体名	活動名	活動目的
1	玉島千歳楽誌編集委員会	『玉島千歳楽誌』発行	玉島の祭礼文化と千歳楽の保存と伝承
2	財団法人新見美術振興財団	ザ・昆虫ミラクルワールド—新見の昆虫から世界の昆虫—同時開催:栗林慧・難波由城雄写真展—小さな生命の躍動—	自然科学分野への関心を高め、自然破壊や環境保全への注意を促す
3	熊野の将来を考える会	備中漆復興事業(工芸の里づくり)	高品質の漆と評価されていた備中漆の復興を地域活性化の目玉として地域一丸となり過疎化の中で生きがいの感じられる里づくりを目指す。
4	犬島再発見の会	犬島の石嫁ぎ先発見の旅	犬島の歴史文化を広く発信していく活動。犬島の歴史文化の発信
5	高月 啓充	高月啓充作曲作品 5,000曲達成記念。「童謡」「歌曲」「叙情歌」発表コンサート	子どもたちを取り巻く環境が厳しい中荒んでいる子どもや保護者にコンサートをとおして優しさ思いやり助け合う心、小さな命を大切にすることを呼び戻し幸せで楽しいひと時を味わってもらうため
6	倉敷市立美術館	特別展「生誕80年 林鶴山回顧展」	倉敷市出身の木工芸家 林 鶴山の生誕80年を記念し、顕彰する
7	上寺山を良くする会	上寺山の建造物整備調査	建造物修理・保存・活用の基本計画書の作成
8	吉備の国混声合唱団	吉備の国混声合唱団創立演奏会	合唱を通して命の尊さ、生きる喜びを伝え、これによって地域社会の文化振興に貢献したい。
9	出石芸術百貨街08実行委員会	出石芸術百貨街08	地域振興、街並み保存、芸術文化振興
10	境神社獅子舞保存会	境神社獅子舞保存会	獅子舞の伝承に係る備品の補修

### 3 指定寄付 岡山県立総社南高等学校ダンス部 保護者会へ100万円贈呈

## 第2章 表彰事業関係

### 1 マルセン大賞

平成19年度スポーツ・文化活動において国際大会・全国大会等で、特に優秀な成績・業績を収めた個人または団体を表彰しました。

#### 【マルセンスポーツ大賞】 (副賞/100万円)

##### ●天満屋女子陸上競技部 [陸上競技]

創部以来、部長・監督・コーチが一丸となって、新しいコーチング手法と強化体制により、オリンピック、世界選手権で活躍できる選手を養成するなど実業団の強豪チームに育て上げた。

同陸上部の活躍により、低迷していた岡山女子長距離界は、刺激を受け、レベルが飛躍的に向上し、全国高校女子駅伝の活躍、平成19年1月の全国都道府県対抗女子駅伝に準優勝と長距離界の発展に尽くした功績は大であり、世界大会はもとより、3大会連続してオリンピック選手の輩出は、岡山県スポーツ界の誇りである。

※マルセン文化大賞の該当者なし

### 2 マルセン賞

平成19年度スポーツ・文化活動において優秀な成績あるいはスポーツ・文化の振興に貢献した個人または団体を表彰。

#### 【マルセンスポーツ賞】 (副賞/30万円)

##### ●県立新見高等学校 ソフトボール部 [ソフトボール競技]

平成19年3月17日～20日に静岡県富士宮市で開催された第25回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会で初の全国優勝を果たした。また、同年7月31日～8月1日に佐賀県鹿島市で開催された第42回全日本高校男子ソフトボール選手権大会兼平成19年度全国高校総合体育大会においても優勝し、春夏連続で全国制覇を成し遂げ、「ソフトボールのまち新見」、「岡山県」を広く全国に知らしめた功績は大である。

##### ●県立新見高等学校 軟式野球部 [軟式野球競技]

平成19年8月25日～29日に兵庫県明石市等で開催された第52回全国高校軟式野球選手権大会において、全国大会初出場で、全国482校の頂点に立ち全国大会初優勝を果たし、岡山県の名を高めた。【副賞辞退】

##### ●福元 美穂 [サッカー競技]

平成20年2月、中国・重慶市で開催された「東アジア女子サッカー選手権2008決勝大会」にサッカー日本女子代表のメンバーとして参加。北朝鮮・韓国・中国に3連勝し、優勝を飾る。

チーム(なでしこジャパン)初の公式大会タイトル獲得にチームのレギュラー(中心選手)で、ゴールキーパーとして北朝鮮戦に出場するなど優勝に貢献した。

##### ●宮間 あや [サッカー競技]

平成20年2月、中国・重慶市で開催された「東アジア女子サッカー選手権2008決勝大会」にサッカー日本女子代表のメンバーとして参加。北朝鮮・韓国・中国に3連勝し、優勝を飾る。

チーム(なでしこジャパン)初の公式大会タイトル獲得にチームのレギュラー(中心選手)で、ミッドフィルダーとして全試合に出場し優勝に貢献した。

## 【マルセン文化賞】 (副賞/30万円)

### ●井手 康人 [美術 日本画]

倉敷芸術科学大学 准教授

平成19年「第92回院展」出品作「環相廻向」で、10年連続の奨励賞受賞。また、平成18年「第91回院展」出品作「奏園」が、奨励賞受賞と同時に第12回天心記念茨城賞に輝いた。現在日本美術院特待で、将来大家になることが予想される中堅有望作家である。

### ●小川 尊一 [美術 洋画]

岡山大学教育学部 教授

第39回日展(2007年11月2日～12月9日、国立新美術館)で、洋画「臨界」が会員賞受賞\*。

昭和63年と平成7年に日展特選を受賞しており、平成14年と平成19年には日展審査員を務めるなど岡山県を代表する洋画家である。

\*この賞は、日展会員を対象にした最高賞の文部科学・内閣総理大臣賞に次ぐ栄誉

### ●神代郷土民謡保存会 [無形民俗文化財 伝統芸能]

同保存会では、田植えシーズンの5月には神代小学校での田植え体験学習の指導を行うとともに、岡山桃太郎まつりなどのイベントや各種行事にも積極的に参加し、写真集「華田」を刊行するなど、太鼓田植えの伝承と普及啓発に努めている。特に、戦後における社会構造の変容の中で、伝統芸能の保存、伝承が困難となっているが、学校教育活動との連携を図りながら、地域での太鼓田植えの伝承に取り組む活動は特筆されるものであり、県内伝統芸能の範となっている。

### ●津山市立北陵中学校吹奏楽部 [音楽 吹奏楽]

中学校の吹奏楽部として生徒の豊かな感性を育むことを目的にたゆまぬ努力を重ね、技術的にも津山のレベルを越え、吹奏楽の甲子園といわれる「全日本吹奏楽コンクール」にこれまでも4度出場しかも3年連続の金賞受賞の快挙を達成。岡山県吹奏楽のイメージアップに多大な貢献をした。

### ●明誠学院高等学校書道部 [書道]

平成20年2月、第16回国際高校生選抜書展(書の甲子園)における全国優勝(主催:毎日新聞社他)平成19年11月、第20回高等学校揮毫大会における最優秀団体校(主催:九州女子大学)平成19年9月、全国高校生(書道)S-1グランプリにおける全国1位(主催:安田女子大学)

上記三つの全国大会で団体優勝するなど数々の大会において、高い評価を得ている。とりわけ「第16回国際高校生選抜書展(書の甲子園)」での全国優勝(個人の部最優秀2名のうちの一人も同高校生)は快挙であり、岡山県の書のイメージアップに大きく貢献した。

## 第3章 イベントの開催(協賛)

### 1 スポーツ

#### ●第31回岡山県少年剣道練成大会(協賛)

平成20年6月7日(土)開催 倉敷市水島緑地福田公園体育館

#### ●第1回倉敷国際少年野球大会(協賛)

平成20年8月23日～24日(日)開催 倉敷マスカット球場他

#### ●第27回山陽女子ロードレース大会(協賛)

平成20年12月23日(火・祝)開催 岡山市内

#### ●マルセン少年陸上競技教室の開催

平成21年3月8日(日) 県陸上競技場・補助グラウンド

参加者 255名

講師 山口衛里(天満屋女子陸上競技部コーチ)

#### ●第24回全国高等学校新体操選抜大会(協賛)

平成21年3月26日～28日開催 岡山県体育館桃太郎アリーナ

#### ●第25回全国高等学校体操選抜大会(協賛)

平成21年3月28日～29日開催 岡山県体育館桃太郎アリーナ



### 2 文化

#### ●第4回沙美アートフェスト(協賛)

平成20年5月10日(土)開催 倉敷市立沙美小学校体育館

#### ●おかやま国際音楽祭2008 チケットプレゼント(成通グループ提供)

平成20年10月4日(土)開催 岡山城天守閣前広場

招待 100名(応募444名)

#### ●岡山学びフェスタ2008 「マルセンバルーンアート教室」の開催

平成20年11月9日(日) 岡山県生涯学習センター

参加者 約220名

#### ●おかやま子ども民俗芸能大会(協賛)

平成20年11月8日(土)開催 倉敷芸文館

#### ●(社)岡山県文化連盟「文化のつどい」(助成)

平成20年11月30日(日)「熊倉功夫」

平成20年12月21日(日)「伊勢崎 淳」

#### ●「マルセン写真コンテスト」の実施 「入選作品展」の開催

平成21年2月25日(水)～3月2日(月)

会場 岡山天満屋地下タウン「アートスペース」

応募点数 113名 270点

入選 36点(金賞1点、銀賞5点を含む)



#### 銀賞



「どろんこスキー」内藤 清(倉敷市)



「電神」江本恭平(倉敷市)



「紅葉」能一 昇(岡山市)

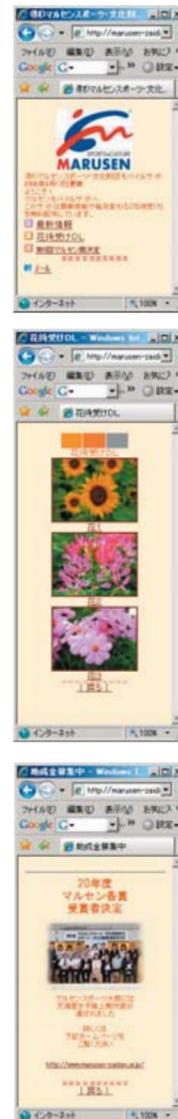
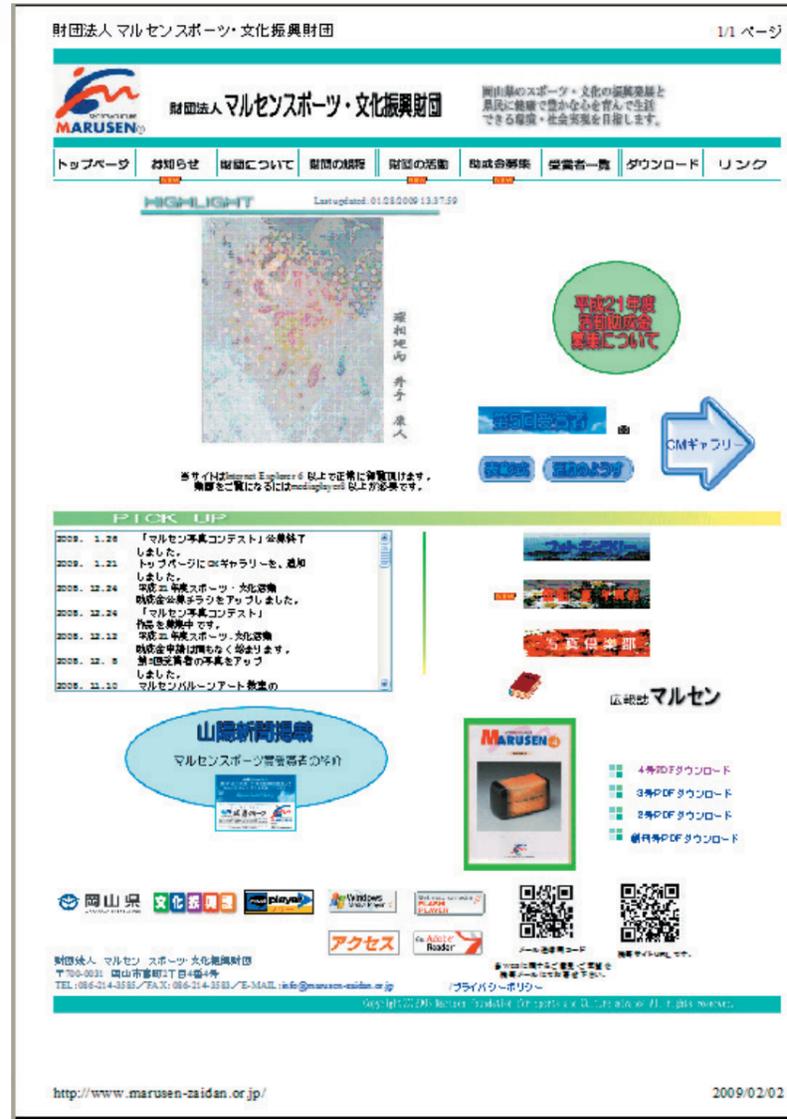


「カルスト台地に春の訪れ」  
羽場照雄(新見市)



「雲海流々」安尾輝司(津山市)

1 ホームページの管理



PCサイト <http://marusen-zaidan.or.jp/>  
 携帯サイト <http://marusen-zaidan.or.jp/i/>

2 機関誌「マルセン」5号の発刊

3 その他 岡山県広報誌「ポッキーノ」vol.3  
 裏表紙(活動助成金公募のお知らせ)

「あっ晴れ!おかやま国文祭」の開催準備が進んでいます!

国民文化祭は、アマチュアを中心とした各種文化活動の成果を全国規模で発表し、競演し、交流する日本最大の文化の祭典です。昭和61年に東京都で第1回が開催され、毎年各都道府県持ち回りで開催されています。

岡山県では平成22年秋に「第25回国民文化祭・おかやま2010」が開催されますが、平成20年7月に決定された実施計画大綱に基づき、現在、各市町村において、文化関係者や地域の方々为一体となって、準備を進めているところです。今後、各主催事業の基本方針や概略をまとめた基本計画を策定し、真に文化活動の発表と鑑賞の機会としてふさわしい事業となるよう、開催準備を進めています。

第25回国民文化祭・おかやま2010の概要

I 名称、テーマ、会期等

- 1 名称 第25回国民文化祭・おかやま2010
- 2 テーマ 晴れの国おかやま 文化回廊

地域と歴史を「めぐる」、  
 人と人をつなぐ  
 未来へと「のびる」  
 文化の回廊を目指します。



- 3 愛称 「あっ晴れ!おかやま国文祭」
- 4 主催者 文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、開催市町村、文化関係団体等
- 5 会期 平成22年(2010年) 10月30日(土)~11月7日(日) [9日間]
- 6 マスコットキャラクター 「ももっち」



マスコット「ももっち」

II 事業内容(実施計画大綱から)

- 1 県内全市町村において開催
- 2 開催事業の概要
  - (1) 総合フェスティバル
    - ・開会式・オープニングフェスティバル (10月30日(土)、岡山市・桃太郎アリーナ)
    - ・閉会式 (11月7日(日)、倉敷市・倉敷市芸文館)
  - (2) シンポジウム 「地域と『文化』」など
  - (3) 分野別フェスティバル(63事業)
    - ・音楽(12事業)      ・演劇(2事業)      ・舞踊(2事業)
    - ・伝統芸能(7事業)      ・文芸(5事業)      ・美術(14事業)
    - ・生活文化(11事業)      ・演芸(1事業)      ・歴史文化(4事業)
    - ・文化一般(4事業)      ・その他(「晴れの国」提案事業)(1事業)

## 初土俵から15年、ようやくつかんだ関取の座

岡山から注目の関取が誕生した。佐渡ヶ嶽部屋の琴国（真庭市出身）だ。

15年の長い年月をかけて十両に昇進、2009年初場所でいきなり9勝6敗と勝ち越した。さらに番付を上げて臨む春場所に、せっかちな地元ファンからは「早く幕内に」と期待を寄せる。

昨年11月の大相撲九州場所。十両昇進を決定づける全勝となる7勝目を、渾身の上手投げでたぐり寄せた。花道を引き揚げながら、止めどなく流れた大粒の涙が印象的だった。

初土俵から15年。89場所を要しての十両昇進は、史上2番目のスロー出世と話題になった。番付編成会議後の会見では、「長かったです」とぼつり。大関琴歐洲や琴奨菊ら弟子たちが次々と追い抜いていった悔しさ、けいこ場では強いが本場所では力を出せない歯がゆさなど、さまざまな思いが込められた一言だった。

先代佐渡ヶ嶽親方（元横綱琴桜）にスカウトされ、中学卒業と同時に角界入り。恵まれた体格から将来が囁望されたが、ここ一番で勝ちきれなかった。一昨年5月、「来年いっぱい十両に上がれなかったら辞める」と決意。ラストチャンスとなった九州場所で見事幕下優勝を果たし、関取の座をつかんだ。

地元の支援も後押しとなった。九州場所を目前に控えた昨年10月の秋巡業「大相撲真庭場所」では、誰よりも大きな声援を受け、前日には支援者が開いた激励会で心強いエール。十両昇進が決まると、同級生を中心に発足した「琴国真庭市後援会」から真庭市の



真庭市から贈られた化粧まわしで、十両の土俵入りをする琴国＝両国国技館

### ことくに 琴国

本名・作田幸寛。1978年7月、旧勝山町（現真庭市）生まれ。勝山中で野球に打ち込む傍ら、2、3年時に相撲の岡山県大会で優勝し、全国大会に出場した。1994年春場所で初土俵。幕下10枚目で迎えた昨年の九州場所で7戦全勝、優勝決定戦も制して十両に昇進した。得意は左四つ、寄り、押し。生涯成績は335勝296敗（2009年初場所終了現在）。186cm、160kg。

市章をあしらった化粧まわしをプレゼントされた。

1994年の初土俵以来、休場はゼロ。生身と生身がぶつかり合うだけに、長年酷使してきた体は満身創痍だ。10代のころから腰痛を抱え、肉離れを起こしたのも一度や二度ではない。それでも「休むということが全く頭にない」ときっぱり言う。

けいこ前の入念な準備運動を欠かさない。しこ、すり足、てっぽうと基本を怠らない姿勢が、長く相撲を取る秘訣でもあり、しっかりとした土台になっている。「痛いから休むのではなく、痛いからこそけいこする」が信念。こつこつと積み上げてきた努力は決して裏切ったりはしなかった。

新十両・西14枚目として臨んだ初場所。序盤は黒星が先行していたが、7日目からは、鋭い立ち合いからの突き、押しと持ち味を発揮し、破竹の6連勝。一気に勝ち越しを決めるとともに、優勝争いにも絡んだ。

終わってみれば、積み上げた白星は9つ。上々の関取デビューといえるだろう。「本当は、もう一番勝って二けた勝利したかった」と悔しさをにじませながらも、「勝ち星が最高の薬になった。白星を重ねるごとに自信が増し、体が自然と動くようになった」と手応えを十分感じている。

「遅咲きと言われるが、今が脂が乗っているとき」と師匠の佐渡ヶ嶽親方（元関脇琴ノ若）が太鼓判を押す30歳。前に出る相撲に磨きをかけ、幕内を目指し、その歩みを止めることはない。

（本文、写真ともに山陽新聞社提供）



## ホットコーナー

### 教育普及活動に力を入れる岡山県下の美術館 ワークショップや解説本の出版、対話型鑑賞… 地域に開かれた場づくり進む

経済状況が悪化する中、美術館はどこも展覧会予算の縮小など厳しい運営を迫られている。大規模な展覧会が減少する一方で各館熱心に、また着実に取り組むものがある。ワークショップや解説本の出版、鑑賞教育など、教育普及活動だ。中でも子どもを対象にした取り組みが目立つ。より楽しく美術への理解を深めてもらい美術館の敷居を低くしようという狙いだ。岡山県下の例を紹介しよう。

岡山県財政の危機の中、岡山県立美術館（岡山市天神町）は、2006年の「中高生のための『岡山の美術』入門」をはじめ、07年に「中高生のための『もっと伝統工芸』鑑賞ガイド」、08年に「中高生のための『岡山の美術』坂田一男と国吉康雄」を相次いで出版した。いずれも、四六版変形のハンディータイプで、カラー印刷。「『岡山の美術』入門」は、室町時代の雪舟から現代のアーティストまで、水墨画、洋画、日本画、彫刻、工芸など多彩な作品と人々、「『もっと伝統工芸』鑑賞ガイド」は、備前焼では初の人間国宝金重陶陽ら歴代の人間国宝、県の重要無形文化財保持者ら、陶芸、染織、木工芸、漆芸など盛んな岡山の工芸の世界、「『岡山の美術』坂田一男と国吉康雄」は、ともに同い年、岡山市生まれ、海外で活躍した二人の洋画家を紹介。同美術館の収蔵品を中心に、同美術館の学芸員が、分かりやすく著述している。単なる美術の概論書ではなく、あくまで地域にこだわり、地域の豊かな芸術世界へ導く内容となっているのが特色だ。4000部製作し、県内の中学校などに配布、500円で一般にも販売しており、一般の人にも好評と同館。今後もテーマを変えて刊行していく予定だ。



岡山県立美術館が発行した「中高生のための」シリーズ



「チルドレンズ・アート・ミュージアム」で染色に熱中する子どもたち＝大原美術館

私立美術館では、日本初の西洋近代美術館として誕生した大原美術館（倉敷市中央）が全国的にも注目される多彩な活動を展開する。93年に美術館に隣接する保育園「若竹の園」の園児を迎え入れたのをきっかけに始まった幼稚園や保育園に通う未就学児の受け入れは、引率者も含め4000人を超える。内容は、園の先生と館が事前に話し合っ決めて、絵を見てお話を作ったり、絵を描いたり。また、2002年から実施する「チルドレンズ・アート・ミュージアム（略称チルミュ）」。毎年8月の最後の土曜日に、美術館の各所で10以上のさまざまなワークショップ、ギャラリーツアーなどを用意、当日参加を受け付ける形で、子どもや親、成人も巻き込む。2008年8月の「チルミュ」でも、ロダンなどの屋外彫刻の前でモダンダンスグループの誘いで「彫刻になる」参加者や、工芸館の庭で染色に熱中する参加者らの歓声に包まれた。これまで延べ7000人が、同美術館が誇る名作の数々に楽しみながらふれた。

ほかにも、公立、私立を問わず、展覧会に関係したワークショップを開催する館は数多く、夢二郷土美術館（岡山市浜）など学校への出張講義の例もあるが、注目されるのは、対話型鑑賞だろう。対話型鑑賞法は、ベネズエラ生まれで米・ニューヨーク在住の美術史家アメリア・アレナスさんが、提唱した。学芸員から解説を受けるギャラリートークと異なり、ナビゲーターが展示作品について鑑賞者の感想や発見などを対話を通して引き出していきやり方。

岡山県立美術館は、アレナスさんが作品の選定と会場構成を担当した「『mité!』おかやま」展を06年に開催。全国から集まった美術関係者らが見守る中、アレナスさんが実際に会場でトークを行った。「母親がいない子どもたち」「子守唄が聞こえてきそう」…平櫛田中（井原市出身）の彫刻「姉ごころ」の前で、参加者からいろんな声を引き出すアレナスさん。このトークは、多くの美術館関係者に刺激を与え、倉敷市立美術館（倉敷市中央）は、2008年から年2回、日本画家池田遙邨（倉敷市出身）作品など紹介するコレクション展示で導入。「子どもの思わぬ指摘に、教えられることが多い」と同美術館の学芸員。

「鑑賞は作品と見る人との間に生まれる」というアレナスさんの言葉通り、一方的な知識の押し付けや伝授ではなく、「見て、感じて、考える」互いの「発見」から世界が広がっていく。

こうした取り組みに共通するのは、各館のコレクションを使い、各館の特色を生かして地域に身近な存在になろうとしていることだ。厳しい環境下、生き残りをかけて地域の中での存在意義を自ら問い始めたともいえる。美術館、そして美術のファンづくりに知恵を絞る熱い取り組みは続く。



対話型鑑賞を披露するアレナスさん(右)＝岡山県立美術館

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)

## 第6章 贈呈式

- とき 平成20年7月29日（火） 午前11時より
- ところ ホテルグランヴィア岡山「クリスタルの間」
- 式次第
  - 1 開 式
  - 2 挨拶
  - 3 表彰状及び副賞贈呈
  - 4 受賞者謝辞
  - 5 助成金交付式
  - 6 来賓祝辞
  - 7 閉 式



## 第7章 受賞者からのひとこと

### マルセンスポーツ大賞

#### 受賞にあたって

天満屋女子陸上競技部

この度は、栄えあるマルセンスポーツ大賞の名誉を拝受し、誠にありがとうございます。関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます。

私ども天満屋女子陸上競技部は、平成4年の発足当初から、「地元・岡山から日本へ、そして世界へ」を合言葉に、活動を続けて参りました。お陰様で、よき指導者と素質あふれる選手にも恵まれ、また何より、地域の皆様の温かいご支援に支えられて、一步ずつ着実に成長を重ねて参りました。そして、今年は、2000年シドニー大会、2004年アテネ大会に続き北京へ、三大会連続となる女子マラソンオリンピック代表選手を輩出することができました。沿道からの声援が選手の励みとなるように、地域の皆様の温かいご支援が、私たちの競技活動の原動力でございます。創部当初の大きな夢を、いま現実として掴むことができましたのも、地域の皆様のお陰であると改めて感謝いたしております。

今後も、陸上競技を通して爽やかな感動を与え、皆様からより愛される陸上部となれるよう、この感謝の気持ちを忘れずに、努力を積み重ねて参ります。引き続き、温かいご支援をお願いいたします。

末筆ながら、マルセン・スポーツ文化振興財団の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

この度は誠にありがとうございました。

陸上競技



## マルセンススポーツ賞



### 受賞にあたって

岡山県立新見高等学校 男子ソフトボール部監督 三上 陽一郎

この度は、名誉あるマルセンススポーツ賞を拝受させていただき、誠にありがとうございました。平素から新見高校男子ソフトボール部の活動に温かい御支援と御協力を賜りました関係者の方々、新見市の地域の方々、そして選考にあたってくださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。また私が代表で表彰を頂きましたが、新見高校の長い歴史と伝統に、そして岡山県のソフトボール界に御尽力されてこられた先生方に、また本校卒業生の方々に深く敬意を表する次第です。

新見高校は、2007年3月に行われた全国選抜大会において優勝、同年8月に行われた佐賀インターハイにおいても優勝をすることができました。目標はただ一つ「日本一」を掲げ、その実現のためには何をすべきなのかを常に模索してきました。やってきたことが実を結ぶことで、選手達は自信を持ちさらにたくましくなりました。

「春夏連覇」は、今のチームにとっては心地良い刺激となっていますが、あくまでも昨年の結果にすぎません。私は、生徒が新見高校のソフトボールを通じて、どんな人間になりどんな人生を送るのが最大のテーマだと考えています。ただ勝てばいいのではなく、新見高校の生徒が勝つことに意味を持たせたい、新見高校の生徒が勝つことに価値を見いだしたい。それが、今後我々が今まで以上にこだわっていくべき所だと思います。

指導者もまだまだ未熟者で、多くの方に御指導や御鞭撻をいただき支えられております。感謝の気持ちを決して忘れることなく、選手達がかっこよく輝けるように、また岡山県のソフトボールの発展に少しでも力になれるように、この度の表彰を機にさらに自己研鑽に努めていく覚悟です。

ソフトボール競技



## マルセンススポーツ賞



### 受賞にあたって

岡山県立新見高等学校 軟式野球部 福島 亮一

この度は、栄えある第5回マルセンススポーツ賞を受賞させていただき、本当にありがとうございます。県内でも様々な分野に活躍され、偉大な成果を挙げてこられた名だたる方々が受賞してこられたこの素晴らしい賞をいただき、関係者一同大変光栄に存じております。

昨年8月、私たちは第52回全国高等学校軟式野球大会で、初出場での優勝という結果を残すことができました。これもひとえに選手たちが日々苦しい練習に耐え、どんな困難にも負けず努力を重ねてきた結果ではありますが、何より地域一丸となって支えて下さった皆様方のご支援、ご声援がなければ絶対に成し遂げることのできなかった結果であると心から感謝いたしております。選手たちの活躍が県民の皆様方に感動を与えることができた、そのことだけでも大変誇らしいことではありますが、その上このような素晴らしい賞をいただき、身に余る幸せに言葉もありません。今回の受賞を契機に、また県民の皆様方に感動を与えられるような試合ができるよう、選手指導者ともどもさらなる精進を続けていくことを固く決意している次第です。今後とも皆様方のご支援、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、この度の受賞にあたってご尽力いただきました関係者の皆様方に厚く御礼を申しあげ、またマルセンススポーツ・文化振興財団の今後益々のご発展、及び皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、受賞のお礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

軟式野球競技



## マルセンスポーツ賞



### マルセンスポーツ賞受賞にあたって

岡山湯郷Belle 福元 美穂

この度は、栄えあるマルセンスポーツ賞に選考していただきありがとうございます。はじめに、この場をお借りして、これまでご指導くださいました多くの方々、そして日頃から応援して下さる皆様に心から感謝申し上げます。

高校を卒業し岡山湯郷ベルに入部して7年を迎えた2008年、チーム創部から目標のひとつに掲げてきた『岡山湯郷ベルからオリンピック選手を!』というものが達成出来たことを本当に嬉しく思います。2004年のアテネではメンバーに選ばれず悔しい思いをしましたが、それと同時に北京オリンピックでは必ずピッチに立とうと決意したのです。その為に、まず所属チームでの日々のトレーニングの向上、なでしこリーグでの試合内容と結果へのこだわり、そして戦っていく中で出てくる課題を選手同士で話し合い修正していくという時間を大切にすることなどを継続して積み重ねてきました。

ゴールキーパーというポジションはディフェンダーと協力し、助け合わなければ何も出来ないポジションです。一人では出来ないことを仲間と一緒に成し遂げる。全員の気持ちが繋がってチームがひとつになる。それが勝利という結果に結び付いた時、サッカー選手として最高の喜びを味わえると思います。

北京オリンピックでは、ベスト4という結果で残念ながらメダルには手が届きませんでした。メダルを獲得する難しさや世界との差を痛感する大会でした。その中でも最高の舞台上、最高の仲間達と最高の喜びを味わえた事は素晴らしい思い出になりました。この経験を今後にかし、世界に通用するゴールキーパー、そして世界大会でのメダル獲得を目標に日々トレーニングに励もうと思います。

最後になりましたが、岡山湯郷ベルは岡山の代表として、応援して下さる皆様の声援を力にかけて、これからも精一杯戦って行きます。どうぞ宜しくお願い致します。

サッカー競技



## マルセンスポーツ賞



### マルセンスポーツ賞受賞にあたって

岡山湯郷Belle 宮間 あや

栄えあるマルセンスポーツ賞に選考していただきありがとうございます。また、同時に大きな責任も感じており、今まで以上の結果を出すべく日々努力を重ねていこうという決意を新たにしました。

2008年夏、北京で開催された第29回夏季オリンピックにおいてなでしこジャパンは日本女子サッカー史上最高の4位という結果を残すことができたが、この試合に勝利すればメダル獲得という舞台に2度立っていながらメダルを勝ち取ることができなかったという結果、4位という順位でも6試合中2試合しか勝利できなかったという結果にただただ自分の力の無さを痛感した大会でした。しかし大会を終えて日本に帰ってくると、「おめでとう!」「よく頑張った!」「感動をありがとう。」などと、本当に多くの方々からたくさんの温かいお言葉をかけていただきオリンピックでの戦いはメダルを逃したというだけの大会だったのではなくメダル以外の、「物ではない何かを勝ち取ることができたのかな」と帰国して初めて前向きな気持ちがうまれました。

私は常日頃からサッカーは、自分以外の仲間のために戦うスポーツだと思っています。仲間の長所を最大限に引き出し、仲間の短所を他の仲間が補い合うということをチーム全員が心がけてプレーすることができれば、チームとして最高の力が出せると信じています。オリンピックの大会中は、仲間の偉大さ大切さを本当に強く感じました。苦しい時に顔を上げれば仲間がいる、背中をおしてくれる、支えてくれる、一緒に戦ってくれる仲間がいつもそばにいました。実際なでしこジャパンはピンチの時にこそ仲間全員で力を合わせチーム一丸となり勝利を勝ち取ってきました。私自身は他の選手にとってそういう存在でいれたかなと考えるても答えは出せませんが、そうであったと信じています。そして私にと



って、自分以外の仲間のために共に戦ったというあの事実は、一生の宝物であり何事にも変えがたいかけがえのない思い出になりました。また、同時にオリンピックは過去の出来事となり今現在私がすべきことは、岡山湯郷Belleで史上最高の結果を残すべく日々努力することと考えています。厳しい戦いではありますが、仲間と力を合わせて全力で戦い抜きます。

最後に、この度の受賞に対し関係各位に感謝を申し上げますと共に、この受賞を誇りとし大きな目標に向かって前進したいと考えています。本当にありがとうございました。

サッカー競技

## マルセン文化賞



### 雑感・バリ

井手 康人

#### 精霊の踊子

バリの森・山・川・海には  
多くの精霊がいる。  
その精霊に守られながら  
人々は生きている。  
精霊に感謝し、少女は踊り  
祈りを捧げる。

#### 夢色

何度もバリに行って  
彼女に会いスケッチをする。  
言葉は未だ話せず、唯微笑むだけで、  
それでもポーズをとってくれる。  
最初は小学校1年生の無邪気な踊り子だったが、  
今、大学に入り医学を学び始めた。  
伝統を守りながら、人をも守ろうとしている。  
その彼女の静かな強さを、  
少しでも描けたらと思っている。

#### 捧げ物

バリでは毎日のお祭りがある。  
島のどこかでお祭りがある。  
祈り、敬う。  
そこには、いろいろな捧げ物がある。  
花は、かかせない捧げ物だ。  
花の匂いが天まで届くほどに。

#### 花の願い

花は願う。  
美しく咲けた事に感謝しながら、  
種子を守り、  
自らの生命が  
次の生命への糧となれる事を。

ある先生が言われた話です。  
自分の絵が好きの人だとしたら、ひたすらに自分を高めて振り向いて  
くれるのを待ち続けます。  
たまに振り向いてはくれますが、すぐ向きなおって思いは届きません。  
自分が自分の作品で感動したいといつも思っています、それはかな  
わぬ恋のようです。



美術 日本画

## マルセン文化賞



### 油絵、2007年 130号 F「臨界」～2008年 130号 F「鷹」

小川 尊一

2007年日展出品作「臨界」は、犬島本島の東側にある銅の製錬所跡から水道を挟んで面する小さな無人島から見て取材したもので、日展に出品しだした昭和45、6年頃に一度80号に描いたことがあった。

40年を経た今回は、その場所を女性像の背景に使用して描いている。若い女性は両手を開き、中庸のポーズを取り、一つの変化で次の動きへと変わる、その瞬間を表わし、臨界点を暗示している。その瞬間への一つの変化はカモメで象徴している。そしてそれらを劇的に見せるかのよう、背景のレンガ作りの遺構が広がる。私が今の地球から受ける感じの一つの到達点ともいえる。変化というか、動きの象徴としてのカモメは希望を意味した。そこはやはり人間の正しい選択での希望を託した。また女性の表情にも自信をもたすなどの工夫をした。教え子であるモデル自身も、今大きく変わろうと成長している時期と重なったからである。

妻の死から何よりも私自身が変わらないと、立ち上がれない状況でもあった。今年10月になって、日展に搬入したばかりの 130号 F「鷹」は再生していく犬島に焦点をあて、美術館に変貌する銅の製錬所跡と時を同じくして浮上した、本島西側にある竹の小島の縄文時代早期（約一万年前）の瀬戸内海最古級の貝塚遺跡への注目からヒントを得て犬島諸島の拡大する時空を、そこに住みついている、ひとつがいの鷹で象徴したものである。

美術 洋画



第40回日展 2008 鷹 小川尊一

## マルセン文化賞



### 受賞にあたり

神代郷土民謡保存会 千原 栄

「夢にも思っていなかった。信じられない。ありがたい。」この度の受賞について、保存会会員の方々の感想です。

当初は、保存会会員のみの活動でしたが、丁度10年前よりマンネリ化を打開しようと地元の神代小学校に協力をお願いし、6年生の児童が参加してくれるようになりました。お陰で、毎年「日本一の親子孫水車」前での催しと「後樂園」でのお田植祭りには子ども達の家族、関係者も見学に来てくださり、たくさんの方が太鼓田植に関心を持ってくれるようになりました。また、太鼓田植も新見市無形民俗文化財から岡山県重要無形文化財へと変わり、新入会員も徐々に増える中、これからの活動について検討中での受賞報告に喜びもひとしおです。

太鼓田植という伝統芸能を次世代に継承していかなければならない。我々保存会の使命であります。しかしながら、少子高齢化が進み、地域力が低下してきている今、後継者の育成は保存会のみならず各種団体の大きな課題です。10年前初めて参加してくれた児童が、成人し地元企業に4人就職しています。たまに会うとよく話をしてくれますが、太鼓田植と一緒にしていなければ、話す事はなかったかもしれません。いずれ彼らが地域や保存会の中心になり活動してくれることと、大きな期待をしています。その為にも我々は、楽しくて入りやすい保存会にしなければと思っています。

何れにせよ、この度の受賞で、これからの活動について勇氣・元気・やる気が湧いてきました。マルセンスポーツ・文化振興財団に感謝するとともに益々のご発展をご祈念いたします。

無形民俗文化財



## マルセン文化賞



### マルセン文化賞受賞にあたって

津山市立北陵中学校 吹奏楽部 顧問 稲生 健

全日本吹奏楽コンクール全国大会3年連続金賞受賞にあたり、表彰いただいたことに心より感謝申し上げます。日々目標を持ち、「努力はうそをつかない」「やるぞ！やろうぞ！！」を合言葉に取り組んできました。地域のコンサートなどを貴重な体験として生かし、締めくくりの定期演奏会を最高のステージとするためにこれからも前進していきます。

今回の受賞は北陵中学校吹奏楽部の先輩達の日々の努力の結晶です。また支えていただいた関係者すべてのみなさまの応援のお蔭です。今年感謝の気持ちを音楽で表現し、お世話になったみなさまに届けようと活動を続けています。岡山県吹奏楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール中国大会での特別演奏も無事終了し、私達の精一杯の気持ちを表現して参りました。今後は、地域のコンサートを続けながら、第6回定期演奏会を津山文化センターにて11月2日に開催いたします。また、11月9日には第23回国民文化祭・いばらき2008「吹奏楽の祭典」へ参加します。11月19日には玉野音楽祭へ出演します。数々の演奏会がみなさんとの出会いにつながり、あたたかい拍手をいただけることが、中学生にとっての何よりの励みとなり、日々の元気な活動につながっていきます。これからも楽器を奏でて音楽を表現することで、人間としての成長を目指します。いつまでも聞いていただくみなさまに喜んでもらえるような演奏を続けていきたいと思っております。ありがとうございました。

音楽 吹奏楽



## マルセン文化賞

## マルセン文化賞を受賞して

明誠学院高等学校書道部 部長 藤井 友理香

この度は、このような素晴らしい賞を受賞することができ、本当に嬉しく思います。

私達明誠学院書道部は十数人という少ない人数なのですが、日々協力し合いながら活動をしています。年間約30の展覧会に出品をしている中で三大会における全国優勝は私達に喜びを与えてくれたとともに、今後も更に作品の向上を目指そうと頑張る力を与えてくれたように思います。今思えば、なかなか思うような作品にならず苦勞していましたが自分達のできる限りの力を発揮しようと皆で作品づくりを進めていった結果、全国優勝という結果がいただけたのだと思います。

また、私達書道部は作品づくりだけでなく『人を磨く』ことにも重点を置いて活動をしています。作品づくりを通して物事を考える力を身につけたり、出品を通して物事の段取りや計画性を身につけたりと、字を書くだけではなく人としての成長も目指しています。

まだまだ不十分なところもありますが、部員全員が将来社会へ出たときに役に立つ人になれるよう、日々目標を持って生活しています。『人が変われば作品も変わる』ので、人としての成長と作品の向上の両方を全員ができるよう、今後も頑張っていきたいと思います。

三大会での全国優勝と、この度のマルセン文化賞を励みにして、今後も全員で協力し合いながら頑張っていこうと思います。そして今まで以上に良い結果が出せるよう、しっかりと内面から磨いていこうと思います。

この度は本当に有難うございました。

書道



# 事業の記録

## 1 表彰の記録

### 第4回 贈呈式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部 岡山湯郷Belie 長田 京大 牧野 吉伸	ハンドボール競技 監督 サッカー競技 サッカー競技 新体操競技 監督 ウエイトリフティング競技 監督
	文化	大賞	山口 松太	漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文家 美術 彫刻 工芸 陶芸

### 第3回 贈呈式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	賞	氏名	種別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	檜村 正明 古川 興幸 森政 芳寿	ソフトテニス競技 監督 レスリング競技 監督 陸上競技 監督
	文化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアニスト 美術 洋画 無形文化財 伝統芸能
特別賞	岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガールズ 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技		

### 第2回 贈呈式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ 横山 純子	ベンチプレス競技 ゴルフ競技 陸上競技 監督
	文化	大賞	小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉	美術 洋画 無形文化財 伝統芸能 美術 彫刻

### 第1回 贈呈式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技 監督
		賞	土井美智恵 藤原 佳市 柳井 清志	水泳競技（マスターズ） 体操競技 監督 ソフトボール競技 監督
	文化	大賞	高橋 秀	現代美術
		賞	栗井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将	無形文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアニスト

## 2 助成の記録

### 第4回交付式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円
				合計	21件 1,994,500円
				累計	82件 9,798,140円

### 第3回交付式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円
				合計	20件 1,962,000円
				累計	61件 7,803,640円

### 第2回交付式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円
				晴れの国おかやま国体	100万円
				合計	21件 2,988,640円
				累計	41件 5,841,640円

### 第1回交付式（ホテルグランヴィア岡山）

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円
				晴れの国おかやま国体	100万円
				合計	20件 2,853,000円

### 3 イベントの記録（協賛を含む）

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
19	スポーツ	「第30回岡山県少年剣道練成大会」協賛	19. 6. 9	-	-	10万円	
		「第26回山陽女子ロードレース大会」協賛	19.12.23	-	-	105万円	
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	20. 2.11	-	-	10万円	
		「マルセン少年サッカー教室」開催 ～湯郷Belleの選手を招いて～ 岡山ドーム	20. 3. 8	-	207名	43万円	
	文化	「第3回沙美アートフェスト」協賛	20. 5.12	-	-	10万円	
		くらしきウイーク 2007 in Kansas City 協賛	19. 7.25 ～ 8. 1	-	-	10万円	
		岡山県文化連盟「文化のつどい」協賛 「書道」「美術」「シンポジウム」	19. 9. 9 15、23	-	-	35万円	
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」「生涯学習 見本市」へ出展 桃太郎アリーナ	19.11.2～ 6	県総合グラウンド 入場者 17万2千人	-	48万円	
	18	スポーツ	「第25回山陽女子ロードレース大会」協賛	18.12.23	-	-	105万円
			「第55回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	19. 2.11	-	-	10万円
文化		「ポスト国体・フラワーロード事業」協賛	-	-	-	10万円	
		「第2回沙美アートフェスト」協賛	18. 5.13	-	-	10万円	
		「川島 基ピアノリサイタル」開催 チケットプレゼント	18.11. 3	431通	200名	約40万円	
		コミュニティライブラリーの開設	18. 8. 4 ～ 19. 2.16	-	-	-	
17	スポーツ	岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」	17. 6. 5	-	-	21万円	
		「第24回山陽女子ロードレース大会」協賛	17.12.23	-	-	105万円	
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	18. 2.11	-	-	10万円	
	文化	松本和将「ベートーヴェン3大 協奏曲の夕べ」チケットプレゼント (岡山シンフォニー)	17. 4.30	-	100名	30万円	
岡山デジタルミュージアム開館 記念『新シルクロード展』 チケットプレゼント		17.10.21 ～ 12.18	452件	100名	9万円		
		「あそべる!おもちゃ展」協賛 (岡山デジタルミュージアム)	18. 2.17 ～ 2.22	-	-	10万円	
16	スポーツ	「第23回山陽女子ロードレース大会」協賛	16.12.23	-	-	105万円	
	文化	岡山フィルハーモニック管絃楽団 第26回定期演奏会 チケットプレゼント	17. 3.11	710件	100名	36万円	

### 平成19年度 収支計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：円)

科目	予算額	決算額
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
基本財産運用収入	100,000	401,095
寄付金収入	12,000,000	13,123,737
雑収入	0	14,595
繰入金収入	0	0
事業活動収入計	12,100,000	13,539,427
2 事業活動支出		
事業費支出	9,800,000	8,994,012
管理費支出	2,300,000	532,869
繰入金支出	0	0
事業活動支出計	12,100,000	9,526,881
事業活動収支差額	0	4,012,546
II 投資活動収支の部		
1 投資活動収入	0	0
2 投資活動支出	0	0
投資活動収支差額	0	0
III 財務活動収支の部		
1 財務活動収入	0	0
2 財務活動支出	0	0
財務活動収支差額	0	0
IV 予備費支出		
当期収支差額	0	4,012,546
前期繰越収支差額	0	3,930,456
次期繰越収支差額	0	7,943,002

# 貸借対照表

(平成20年 3月31日 現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,342,151	2,594,392	△ 252,241
未収金	17,131	17,131	0
仮払金	10,000	5,000	5,000
立替金	6,268,202	2,123,737	4,144,465
流動資産合計	8,637,484	4,740,260	3,897,224
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
特定預金	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	20,000,000	20,000,000	0
(3) その他固定資産			
固定資産合計	120,000,000	120,000,000	0
資産合計	128,637,484	124,740,260	3,897,224
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	674,994	806,364	△ 131,370
預り金	19,488	3,440	16,048
流動負債合計	694,482	809,804	△ 115,322
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	694,482	809,804	△ 115,322
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	27,943,002	23,930,456	4,012,546
正味財産合計	127,943,002	123,930,456	4,012,546
負債及び正味財産合計	128,637,484	124,740,260	3,897,224